



新春の候、市民の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は湖誠会に對しまして、温かいご支援とご厚情を賜り、心より感謝を申し上げます。

昨年の11月通常会議においては、補正予算や条例改正などは、各種福祉サービスの利用増加による関連経費の追加など、

ごあいさつ



18億9千万円余りについて可決いたしました。

本年9月に国民スポーツ大会（国スポ）が、10月に全国障害者スポーツ大会（障スポ）が滋賀県で開催されます。大津市では、国スポのテニス、サッカー、バスケットボールなど11競技のほか、多くの競技が開催されます。全国から多くの方にお越しただき、大津の魅力を感じていただける機会になりますことを願っております。

今後とも湖誠会と会派所属議員に對し、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

幹事長

竹内 照夫

右より

- 川口 正徳 議員
- 福永 英晶 議員
- 寺田 英幸 議員
- 竹内 基二 議員
- 竹内 照夫 議員
- 葉月 陽 議員
- 草野 聖地 議員

湖誠会は、地域の皆様のお声を大切に大津の将来を創造します



① 福永 英晶



今年は国スポ・障スポが9月から開催されます。大津市でもサッカーやローイングをはじめ様々な競技が実施されます。スポーツを通じて感動や活力や希望を皆様に共有しましょう！

私は、今の大津市を創ってこられた先輩方の思いを継承しつつ、皆様から様々なご意見を傾聴し、守破離の精神で本年も提言・提案して参ります。

⑤ 葉月 陽



市民の命と暮らしを守る防災対策を推進し、子育て支援を充実させます。笑顔あふれる強く優しい大津を目指し、魅力あるまちづくりに全力で取り組めます。

共に未来を切り開きましょう！

② 草野 聖地



子どもたちの声が響き、笑顔が広がることで地域が元気になります。夢あふれる大津を目指し、皆様と共にできることを考え、全力を尽くしてまいります。

⑥ 寺田 英幸



＜私の今年の抱負は、市政に繋がる「担い手」役として【誠實】に活動する＞

- ・「地域の【伝統】を次世代に継承し、移り変わる動向【革新】を見える化する」
- ・「夢があふれるまちづくり、人づくりを子どもから高齢者までに広げる」

日々新。 「利他の心で尽くす」

③ 竹内 照夫



【Otsu Re Born】
「優しい心」「厳しい心」「ときめく心」「豊かな心」を忘れず、「大津に心をとりもどしたい」と思います。

そして今年も、市民の皆様とともに、大津を生まれ変わらせるために全力を尽くしてまいります。

④ 竹内 基二



円安や気候変動による物価の高騰が続く中、市民の暮らしを守り、中小企業への支援を強化します。

交通安全施設や災害避難所としての学校施設の整備を進め、若者が未来に希望を抱ける施策を提案し、実現してまいります。

⑦ 川口 正徳



まちづくりの主役は市民の皆様です。物価高騰で暮らしが厳しい中であっても、創意工夫の営みをされていることについて敬意を表するとともに、これからも市民の皆様が安心して暮らせるよう、負託を受けた者として、ご意見を真摯に傾聴し、賑わいのある大津を目指して真務を果たして参ります。

11月通常会議一般質問

質問、答弁は一部抜粋です。詳しくは天津市議会ホームページをご覧ください。



葉月 陽 議員

連携中枢都市圏構想について

Q 現在、天津市が他市町と行っている連携の現状と課題について、また、県内外の市町を視野に入れた連携事業や連携中枢都市圏構想に代表されるような都市間での連携について本市の見解と今後について伺う。

A 滋賀県市長会を通じた国県要望などにより、県内他市と共通の政策課題等について、連携して対応している。また、地域間幹線系統における路線バスの運行確保などの事業では、費用負担の割合などに課題はあるものの、近隣自治体と連携し取り組んでいる。

本市においては昼間人口が基準に達していないことから、国の定める要綱上の連携中枢都市には該当しないが、人口減少や極端な人口構造の変化への対応において、近隣市町との施設の補完などについても、必要に応じて調査、研究していく。



福永 英晶 議員

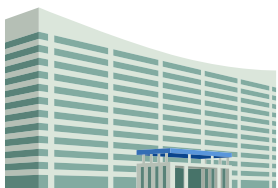
宿泊税導入について

Q 他の自治体の事例を参考に宿泊税導入にむけて検討をされてはどうかと考えるが本市の見解を伺う。

A 宿泊税導入に向けた検討についてであるが、宿泊税は、本市が将来にわたって持続可能な観光地となるための安定的な財源となり得る一方で、導入にあたっては課題もあると認識している。

このことから、本市においても既に導入している地方自治体の事例等の調査研究を行ってきたが、今後、市内の観光・宿泊事業者等の意見を伺うとともに、宿泊税の導入も視野に入れながら観光施策に係る安定的な財源の確保に向けての議論を進めてまいりたいと考えている。

※他に1項目の質問あり。



川口 正徳 議員

無意識のジェンダーバイアスについて

Q 天津市の婚姻届の記入見本には、「婚姻後の夫婦の氏」の選択欄で、「夫の氏」にチェックが入っている。「『夫の氏』・『妻の氏』いずれかにチェックをしてください」との説明に改める予定はあるか。また、本市において、無意識のジェンダーバイアス（性別に基づく固定観念）を助長しないための市民への啓発について伺う。

A 婚姻届の記入見本については、今年度中に見直しを図る。また、本市では、おおつかがやきプランⅣの基本目標の一つとして、「人権の尊重と男女共同参画意識の浸透」を掲げ、その取組のポイントとして「固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に向けた啓発」を位置付けており、市ホームページをはじめ、男女共同参画に関する広報紙の発行や講座の開催、展示の実施などを通じて、無意識のジェンダーバイアスを助長しないための啓発を実施してきた。 ※他に3項目の質問あり。



竹内 照夫 議員

膳所駅周辺整備推進事業の進捗状況について

Q 市街地再開発事業による駅前整備を前提とした事業化検討組織の設立状況や現時点における検討の内容、事業計画やスケジュール等について伺う。

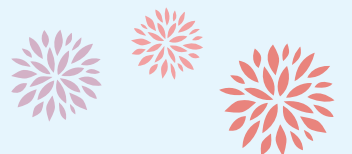
A 今年8月に駅南側周辺の地権者によるJR膳所駅前南地区市街地再開発準備組合が設立され、現在、地権者間で土地利用計画や施設計画、事業収支、スケジュールなどについて協議が行われている。

昨年度に実施した南側駅前広場の検討委託では、都市計画決定済みの交通広場は縮小し、にぎわいの空間を生み出すことにより駅前広場をより有効に活用できるとの方向性が示されており、駅前広場を所管する立場から準備組合の検討会に参画し、今後も継続して意見交換を行う。

また、過去の再開発事業の実績を踏まえ、維持管理費の負担などが課題となることから、天津駅西地区のココラス天津と同様に、膳所駅前南地区においても、新たな公共公益施設は整備しないことを基本方針として事業推進を図っていく。

TOPICS

天津市役所 新庁舎整備について



現在の市庁舎については、昭和42年に本館を竣工し、昭和46年には別館、平成元年には新館、平成5年には第二別館を竣工し、現在4つの分館庁舎形態となっています。

本館は建築後54年が経過しており、耐震性の問題を始め、建物自体の経年劣化や狭隘化、設備面、バリアフリーなど様々な問題を呈していることから、新庁舎整備に向けた取組を進めています。

令和3年度から庁内の横断的組織が主体となり、外部有識者の専門的な知見からの考え方や庁舎機能、庁舎規模などの検討項目に関しての意見聴取、市民アンケートを実施するなどし、この検討結果をもとに今後の庁舎整備の基本的な考え方をとりまとめた「天津市庁舎整備基本構想」を策定しました。

候補地を皇子山総合運動公園の一部とし、市民の皆様幅広く意見をいただき、検討を重ねながら、来年度には、具体的な規模やスケジュールを含んだ「庁舎整備基本計画」をとりまとめる予定です。

